

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月12日

上場会社名 株式会社城南進学研究社 上場取引所 東・札
 コード番号 4720 URL <https://www.johnan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 千島 克哉
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役CFO (氏名) 杉山 幸広 (TEL) 044-246-1951
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,239	△2.9	△160	—	△160	—	△175	—
2026年3月期第1四半期	1,276	1.7	△128	—	△128	—	△153	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △175百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △154百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△21.85	—
2026年3月期第1四半期	△19.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	4,810	1,158	24.0
2026年3月期	5,108	1,393	27.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 1,156百万円 2026年3月期 1,391百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2027年3月期	0.00				
2027年3月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,918	△2.2	68	△37.5	63	△41.7	42	△56.9	5.33
通期	5,731	2.0	142	83.7	133	64.6	84	—	10.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 有限会社吉祥、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	8,937,840株	2026年3月期	8,937,840株
2027年3月期1Q	906,399株	2026年3月期	906,399株
2027年3月期1Q	8,031,441株	2026年3月期1Q	8,031,533株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用環境の改善などで引き続き緩やかな回復基調がみられましたが、一方で中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりに加え、米国の通商政策の影響、円安の進行や物価高など、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当業界におきましては、引き続き少子化による受験競争の大幅な緩和、大学受験における総合型・学校推薦型選抜など選抜方法の多様化、「英語四技能」重視の教育改革に伴う英語学習需要の増大など、顧客ニーズが変容しております。また、AIを用いた教育関連の商品やサービスが登場し教育の個別最適化が進むとともに、教育格差の拡大や不登校の急増などの社会問題が深刻化しており、教育サービスを取り巻く環境は大きな変化の渦中にあります。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画に基づき、「日本が抱える社会課題への挑戦」「保育園事業の成長」「学習塾事業の深化」を重点戦略として掲げ、経営課題に取り組んでおります。

5月には小規模認可保育園を運営する有限会社吉祥の株式を100%取得し、子会社化いたしました。また、大学受験の総合型・推薦型選抜入試に対応した当社のオリジナルコンテンツ「推薦ラボ」をアプリ化し、城南コベッツへ導入するとともに外部への販売を開始いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,239百万円（前年同四半期比2.9%減）、営業損失は160百万円（前年同四半期は営業損失128百万円）、経常損失は160百万円（前年同四半期は経常損失128百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は175百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する当期純損失153百万円）となりました。

a. 教育事業

児童教育部門では、「Kubotaのうけん/アタマGYM」を含むキッズブレインパークが前年の一部教場整理等の影響で若干の減収となりましたが、保育園事業及び児童英語教室ズーフォニックスについては売上高が前年並みで推移しており、児童教育部門全体ではほぼ前年同四半期並みの売上高となりました。

映像授業部門（映像授業教室「河合塾マナビス」）では、既存校全体の生徒人数は増加しましたが、受験学年の人数が減少したことから、前年同期をやや下回る売上高となりました。夏期講習の申し込みは順調であり、5月に事業譲受により新規開校した赤羽校を含め、第2四半期以降の売上高は増加を見込んでおります。

個別指導部門（個別指導塾「城南コベッツ」）では、直営教室につきましては、前年を上回る生徒数となり、売上高も前年同期を上回りました。一方でFC教室につきましては既存教室の生徒数は増加しておりますが、前年に6教室が閉鎖となった影響で前年同期を若干下回る売上高となりました。

デジタル教材・ソリューション部門では、前述のWEBアプリ「推薦ラボ」の販売を4月より開始いたしました。また、オンライン学習教材「デキタス」の新規契約が堅調に推移しており、前年同期をやや上回る売上高となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,152百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

なお、対計画値では上回る売上高で推移しております。また、教育事業は事業の性質上、第2四半期連結会計期間以降に売上高・利益とも偏る傾向にあります。

b. スポーツ事業

子会社である株式会社久ヶ原スポーツクラブでは、スイミングクラブ及びスポーツジムの「マイスポーツ」とも、前年をやや下回る在籍者数で推移した結果、スポーツ事業全体では売上高は前年同期をやや下回ることとなりました。

この結果、当連結会計年度外部顧客への売上高は86百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、4,810百万円となり、前連結会計年度末に比べ298百万円減少いたしました。これは主にのれんが135百万円、建物および構築物（純額）が18百万円増加した一方、現金及び預金が393百万円、売掛金が77百万円減少したことなどによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、3,651百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少いたしました。これは主に契約負債が88百万円増加した一方、長期借入金(1年内返済予定含む)が68百万円、未払消費税等が32百万円、未払法人税等が27百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、1,158百万円となり、前連結会計年度末に比べ234百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が234百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては本資料発表日現在において、2026年5月20日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,751,919	1,358,106
売掛金	200,121	122,317
有価証券	10,372	10,606
商品	11,789	11,410
貯蔵品	5,206	4,493
前払費用	288,709	299,988
その他	23,618	30,008
貸倒引当金	△2,618	△1,922
流動資産合計	2,289,118	1,835,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	489,286	507,590
工具、器具及び備品（純額）	25,183	29,458
土地	1,564,579	1,564,579
リース資産（純額）	125,911	115,289
その他（純額）	1,345	1,190
有形固定資産合計	2,206,307	2,218,109
無形固定資産		
のれん	951	136,564
ソフトウェア	17,038	33,995
その他	7,677	7,630
無形固定資産合計	25,667	178,190
投資その他の資産		
投資有価証券	30,549	30,352
敷金及び保証金	478,231	478,171
破産更生債権等	41,429	42,686
繰延税金資産	29,816	-
貸倒引当金	△46,649	△46,686
その他	53,926	74,368
投資その他の資産合計	587,303	578,891
固定資産合計	2,819,278	2,975,192
資産合計	5,108,397	4,810,200

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,128	19,513
1年内返済予定の長期借入金	259,996	234,476
未払金	212,358	200,209
リース債務	64,669	64,588
未払法人税等	40,511	12,678
未払消費税等	67,716	34,888
契約負債	802,010	890,384
賞与引当金	69,824	64,559
資産除去債務	19,191	5,698
その他	177,014	185,502
流動負債合計	1,734,421	1,712,498
固定負債		
長期借入金	806,826	764,005
リース債務	143,988	126,689
繰延税金負債	189,883	190,798
役員株式給付引当金	18,278	18,278
退職給付に係る負債	427,329	425,974
資産除去債務	394,272	413,317
固定負債合計	1,980,578	1,939,063
負債合計	3,715,000	3,651,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,734	655,734
資本剰余金	695,932	695,932
利益剰余金	739,492	504,823
自己株式	△356,148	△356,150
株主資本合計	1,735,011	1,500,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,913	1,890
土地再評価差額金	△345,435	△345,435
その他の包括利益累計額合計	△343,522	△343,544
非支配株主持分	1,908	1,842
純資産合計	1,393,396	1,158,638
負債純資産合計	5,108,397	4,810,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,276,658	1,239,023
売上原価	1,053,633	1,058,187
売上総利益	223,025	180,836
販売費及び一般管理費	351,836	340,979
営業損失(△)	△128,811	△160,142
営業外収益		
受取利息	17	59
受取配当金	2,061	82
受取賃貸料	1,287	1,200
その他	1,348	4,641
営業外収益合計	4,715	5,982
営業外費用		
支払利息	4,723	5,197
その他	-	1,409
営業外費用合計	4,723	6,607
経常損失(△)	△128,819	△160,766
特別利益		
補助金収入	2,353	505
特別利益合計	2,353	505
特別損失		
減損損失	-	488
固定資産圧縮損	1,989	338
関係会社事業損失引当金繰入額	131	-
その他	-	3,775
特別損失合計	2,120	4,601
税金等調整前四半期純損失(△)	△128,586	△164,863
法人税、住民税及び事業税	3,307	3,767
法人税等調整額	21,260	6,894
法人税等合計	24,568	10,662
四半期純損失(△)	△153,154	△175,526
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△65
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△153,159	△175,461

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△153,154	△175,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,256	△22
その他の包括利益合計	△1,256	△22
四半期包括利益	△154,410	△175,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△154,415	△175,483
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額(注) 2
	教育事業	スポーツ事業	計		
売上高					
個別指導部門(直営)	166,036	—	166,036	—	166,036
個別指導部門(F C)	63,023	—	63,023	—	63,023
映像授業部門	371,439	—	371,439	—	371,439
児童教育部門	469,264	—	469,264	—	469,264
デジタル教材・ ソリューション部門	62,121	—	62,121	—	62,121
その他	55,440	—	55,440	—	55,440
スポーツ部門	—	89,331	89,331	—	89,331
顧客との契約から生じる収益	1,187,327	89,331	1,276,658	—	1,276,658
外部顧客への売上高	1,187,327	89,331	1,276,658	—	1,276,658
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,524	—	1,524	△1,524	—
計	1,188,851	89,331	1,278,182	△1,524	1,276,658
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△132,826	4,015	△128,811	—	△128,811

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額(注) 2
	教育事業	スポーツ事業	計		
売上高					
個別指導部門(直営)	166,660	—	166,660	—	166,660
個別指導部門(F C)	59,747	—	59,747	—	59,747
映像授業部門	359,902	—	359,902	—	359,902
児童教育部門	464,520	—	464,520	—	464,520
デジタル教材・ソリューション部門	65,978	—	65,978	—	65,978
その他	35,562	—	35,562	—	35,562
スポーツ部門	—	86,652	86,652	—	86,652
顧客との契約から生じる収益	1,152,371	86,652	1,239,023	—	1,239,023
外部顧客への売上高	1,152,371	86,652	1,239,023	—	1,239,023
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,666	—	1,666	△1,666	—
計	1,154,038	86,652	1,240,690	△1,666	1,239,023
セグメント損失(△)	△158,720	△1,422	△160,142	—	△160,142

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、報告セグメントの計上額は、「教育事業」488千円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産等に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	30,891千円	30,971千円
のれん償却額	2,855千円	951千円

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2026年5月20日の取締役会において、小規模認可保育事業を展開する有限会社吉祥の全株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。また、株式譲渡実行日は2026年5月26日となっております。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 有限会社吉祥

事業の内容 小規模認可保育事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは保育事業の成長を学習塾に続き「第2の柱」と位置付けており、既存保育事業の積極的な展開を進めるとともにM&Aによる事業の拡大を進めております。

一方、有限会社吉祥は、埼玉県及び東京都に小規模保育園4園を運営しております。4園はいずれも駅近で生活利便性が高く、安定した保育需要の見込めるエリアであり、定員満員での運営を継続しております。

このたび、当社が有限会社吉祥を子会社化することで、当社グループの既存事業とのシナジー効果により、さらに事業規模の拡大を加速し、より質の高い保育サービスを提供できるものと判断いたしました。

(3) 企業結合日

2026年5月26日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

2. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 188百万円（概算額）

3. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

115百万円

なお、当該金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

主として、今後の事業展開によって期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

4. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	70百万円
------	-------

固定資産	22百万円
------	-------

資産合計	92百万円
------	-------

流動負債	23百万円
------	-------

固定負債	14百万円
------	-------

負債合計	37百万円
------	-------